

# 泊・伊方・敦賀・渡り歩いて6年余

## 原発が奪った夫の命

### 核の時代を生きて ③

沖繩県うるま市。喜友名末子さん(59)は、自宅の台所にある琉球の神棚、ヒノカン(火の神)に手を合わせた。同じ年の亡き夫、正さんに語りかけた。

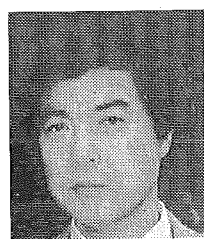
「原発で事故があったよ。病気になる人が出ないか心配」

原発で働いていた正さんは2005年3月、悪性リンパ腫で急死した。53歳だった。3年後、「原発労働がもとで死亡した」と労災が認められた。

6年あまりの間に八つの原発や施設で累計99ミシーベルトの放射線を浴びた。規則で認められる範囲の線

量だったが、「悪性リンパ腫を発症しうる量」と放射線の専門家が指摘した。「原発が主人を奪った」。今も悔しさがこみ上げてくる。

正さんは高校卒業後、那覇市の電機販売会社で20年以上、修理の仕事をしてきた。週末には末子さんや長



喜友名正さん

男と海に行き、ミーバイ(ハタ)やタコを捕った。夜に夫婦で台所に並んで刺し身や煮付けにした。

暮らした変化が訪れたのは94年末、正さんが会社を辞めてからだ。「会社は自分より、給料の低い若手を増やしたがついてくる」。当時の月給は県平均の2倍の約45万円。居心地の悪さに我慢できなかった。

「原発で働くことにはした」。97年夏、職を転々としていた正さんが夕食時に突然切り出した。大阪の会社の臨時職員として配管を検査する仕事をハローワークで見つけたという。病院で医療事務に就く末子さんは「放射線を浴びると病気になる」と反対した。

でも、家のローンや長崎の大学に入った長男への送りがある。原発作業の稼ぎは多ければ1カ月で40万円。「同じ給料をいま沖繩のどこで得られるんだ」。耳を貸さず、正さんは沖繩を出ていった。

泊(北海道)、伊方(愛媛)、敦賀(福井)……。04年3月のことだ。沖繩に帰っていた正さんの顔の右半分が突然、殴られたように腫れた。駆け込んだ病院で「鼻に腫瘍がある」と言われ、緊急手術した。5月に入院した別の病院の医師は、家族を会議室に集めてこう告げた。

「治療しても助かる確率は50%です」。正さんの口のおちこちに口内炎ができ、食事もうろくに取れない。70kgの体重は47kgに。体力はみるみる衰えた。1年近い闘病生活。酸素マスクが必要となった末期、何かを伝えようと正さんがメモ帳を手にとった。「末子」と書くのがやっと。後が続かなかった。30年の2人の生活は数日後、終わりを告げた。

正さんの口のおちこちに口内炎ができ、食事もうろくに取れない。70kgの体重は47kgに。体力はみるみる衰えた。1年近い闘病生活。酸素マスクが必要となった末期、何かを伝えようと正さんがメモ帳を手にとった。「末子」と書くのがやっと。後が続かなかった。30年の2人の生活は数日後、終わりを告げた。

心を開いた穴は、埋まらない。「前を見て生きよう」とあえて思い出の品を処分した。しかし、頭に浮かんでくる正さんの姿までは、どうしようもない。隣近所から時折、ほかの夫婦の声か風に乗ってくる。奪われた日常は、戻ってこない。(采沢嘉高)

## 「ノーモア福島」 脱原発を前面に

### 福島で原水禁世界大会

広島、長崎の「原爆の日」を前に、原水爆禁止日本国民会議(原水禁)などが31日、福島市で世界大会を開いた。東京電力福島第一原発の事故を受け、原発立地県で初めての開催。800人を超える参加者があり、「脱原発」を前面に打ち出した。

「私の運動への熱意は核兵器廃絶に偏りがちだった。反原発への取り組みが弱かった」。長崎の被爆者、川野浩一議長は冒頭のあいさつで反省を述べた。

その上で「この原発事故を最後にしましょう。『ノーモア・フクシマ』と叫びま

しょう」と呼びかけた。

講演したルポライター鎌田慧さんは「原発反対で運動してきたが、社会を変え

る力になっていなかった」と振り返った。1954年の「第五福竜丸事件」の際、乗組員だった大石又七さんは講演で、「原発は核兵器と同じ危険性を秘めている。原発はなくすしかない」と訴えた。

一方、「脱原発」へと明確にカジを切れない参加者もいた。福島県飯館村の佐藤健太さん(29)は、今はまだ原発の是非まで踏み込んで考える余裕がないとい

う。ただ、できることをやるうと、長期間にわたって健康調査をするよう県などに求める活動をしている。

## 吉永小百合さん「原発なくなつて」

女優の吉永小百合さんが31日、広島市中区の広島国際会議場であった原爆詩の朗読会で、福島第一原発の事故に触れ「原子力発電所がなくなつてほしい」とあいさつした。朗読会はこの日開かれた日本母親大会の特別企画で、約1500人が聴き入った。

### 原爆詩の朗読会で

吉永さんは朗読前のあいさつで、「原子力の平和利用」という言葉を、今まであまりに受け止めてしまっていた。普通の原子力についてももっと知っておくべきだった」と話した。「世の中から核兵器がなくなつてほしい。原子力発電所がなくなつてほしい」と訴えた。(清宮涼)

## 線量調査や除染託す

### 福島市議選 投票した有権者

東日本大震災で延期されていた福島市議選(定数38)が31日、投票された。福島第一原発の事故を受け、投票で何を重視したかを有権者50人に聞いたところ、原発事故関連では「放射性物質による汚染状況の調査と除染」が最も多かった。放射線量が高い渡利地区と市中心部の投票所で投票を終えた各25人に、7項目から一つ選んでもらった。表。渡利地区では21人が原発関連の項目を選び、うち

### ■有権者50人「投票で重視したことは」

重視したこと	人数
放射性物質による汚染状況の調査・除染	16
候補者の原発に対する考え方	7
被曝(ひばく)を避けるための子どもの県外避難	4
原発事故に対する将来の避難・防災計画	3
風評被害への補償	3
その他/原発事故関連	0
その他/原発事故関連以外	17

「候補者の原発に対する考え方」を選んだ男性医師(40)は、「子どもたちに負

の遺産は残せない。多少不便でも代替エネルギーを考

## 福島・櫛葉 未明に震

31日午前3時 福島県沖を震源があり、同県櫛葉村で震度5強、わき市、茨城県木更田原市など弱の揺れを観測。ほか、東北を中から近畿にかけた。東京都心は気象庁による大震災の余震と



世界大会を前に開かれた県民集会では脱原発を求めるプラカードが並んだ=31日午後、福島市、上田潤撮影

いかになくして、議論は原発の是非が非に聴いた。

パネル討論では、絶国際キャンペ、AN)代表のテ、ラフ氏が、核の段階的削減が「世界をつくる」だ」と話した。

シンポジウムは、広島平和文化セ、日新聞社が主催、長崎平和推進協、ムテレビ、長

が後援した。

(詳しい内容は掲載予定です)

福島・櫛葉 未明に震

31日午前3時 福島県沖を震源があり、同県櫛葉村で震度5強、わき市、茨城県木更田原市など弱の揺れを観測。ほか、東北を中から近畿にかけた。東京都心は気象庁による大震災の余震と

世界的气温と天

養子縁組 臓器移植 移植学会、過

生体腎移植を 移植法違反事件を 本移植学会(寺

長)は31日、理 過去5年間の 植と生体肝移植に 養子縁組の親族

晴雨雨晴晴晴晴

湿度 68 57 55 59 65 48 60